

跡地関係市町村等 先進地事例研修

～返還される駐留軍用地の跡地利用の推進に向けて～

事前研修

現地研修を有意義なものとするため、事前に研修先のまちづくり等について学ぶ事前研修を10月27日に当局内会議室において開催しました。



事前研修を受講する参加者

現地研修

11月11日から12日にかけて、道の駅うつのみやろまんちっく村及び江戸川区篠崎駅西部地区を訪問し、施設運営や開発に携わる方な

沖縄総合事務局では、昨年度に引き続き、跡地関係市町村の担当職員21名、地主会会員等12名及び沖縄県・当局職員5名の合計38名が参加のもと、11月11日・12日の2日間、先進地事例研修を実施しました。
当研修は、市町村職員などのまちづくりに関するスキルの向上の支援と、市町村職員と地主会会員との交流を深め、相互での情報共有ができるネットワーク作りの支援を目的として、県外におけるまちづくりの取組事例を現地で学んでいただくものです。

どからご説明をいただくなど現地研修を実施しました。

(研修先)

○道の駅うつのみやろまんちっく村（栃木県宇都宮市）

・農産物直売所、農園施設のほか温泉や宿泊施設等も備えた敷地面積46haの体験滞在型ファームパーク。

○篠崎駅西部地区連鎖型土地画整理事業（東京都江戸川区）

・各街区の特性や状況に応じて、合意の得られた街区から段階的に区画整理事業を行う柔軟なまちづくりを実施。



道の駅うつのみやろまんちっく村

研修参加者からは、
・住みよいまちづくりを行うためには、地域の特性を活かすことが必要だと実感した。
・地域住民と連携した戦略的な運営方法がとても参考になった。
・仕組みづくりの大切さや、民間活力の活用を学ぶことができた。
・現場を直接見ながら開発担当者から生の声を聞くことができた。
・各市町村、県、地主会という枠を越えて交流を深めることができてよかった。
といった意見がありました。

当局では、今回の研修でいただいた様々なご意見をもとに研修内容の更なる充実に努め、返還される駐留軍用地跡地の有効かつ効果的な利用の推進に向けて取り組んでまいります。



篠崎駅西部地区連鎖型土地画整理事業